

今までのようなエネルギーの使い方じゃいけないんだね

私たちの生活を支えるエネルギー

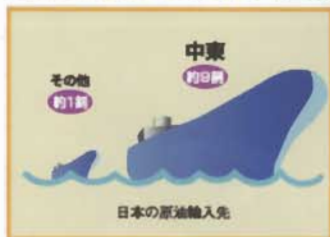
私たちの生活に欠かせない電化製品や冷暖房、自動車は、電気・灯油・ガソリンなどのエネルギーで動いています。もしもエネルギーがなくなると、これらの機器が動かなくなるどころか、電気をつくる発電所も、電化製品をつくる工場も、物を運ぶ輸送手段も完全にストップして、社会全体が機能しなくなってしまいます。このように、エネルギーがあるからこそ、私たちは便利で快適な生活ができるのです。

限りあるエネルギー資源

私たちの生活を支えるエネルギーのほとんどは、石油・石炭・天然ガスなどの化石燃料からつくられています。化石燃料は、地球の永い歴史の中で少しずつ育まれてきたもので、無限ではありません。仮に、今のペースでエネルギーを消費すると、石油はあと約 40 年、天然ガスは約 60 年、石炭は約 200 年でなくなってしまうと言われています。



ほとんどを海外に頼っている我が国のエネルギー



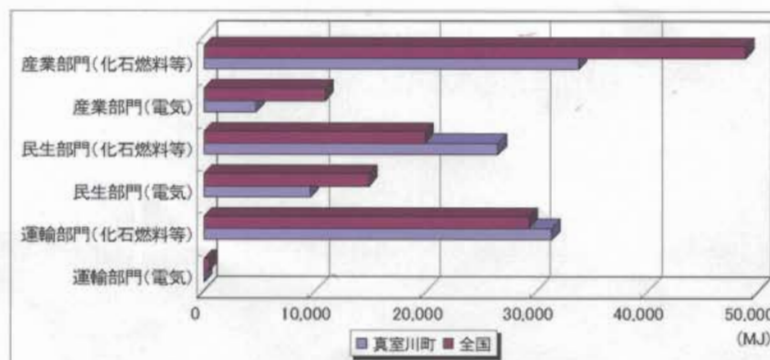
エネルギーの大量消費地域は、先進国です。世界の人口の 1/4 しかない先進国が、世界の全エネルギーの 3/4 を使っています。一人当たりのエネルギー消費は、日本は中国の 5 倍とも言われています。しかも我が国は、その膨大なエネルギー消費のもととなる化石燃料のほとんどを、海外からの輸入に頼っています。

地球温暖化もエネルギーの消費が原因

私達は、エネルギーの消費に伴い、二酸化炭素も排出しています。二酸化炭素は太陽からの熱を地球に封じ込め、地球温暖化を引き起こす温室効果ガスの一種です。今後、エネルギーの大量消費によって、温室効果ガスが増えると、全地球的な気候の変化による影響で、砂漠化、大雨・洪水などの異常気象、自然環境や生態系の崩壊が起きると危惧されています。

真室川町で消費しているエネルギーの量

真室川町で消費されるエネルギーは、年間 1,065,560GJ/年、ドラム缶に換算すると約 145,000 本分になります。一人あたりの消費量を全国と比較すると、暖房などに利用する家庭用や自動車のガソリンなどの化石燃料の消費が多くなっています。



■一人当たりエネルギー消費量 (全国と真室川町との比較)

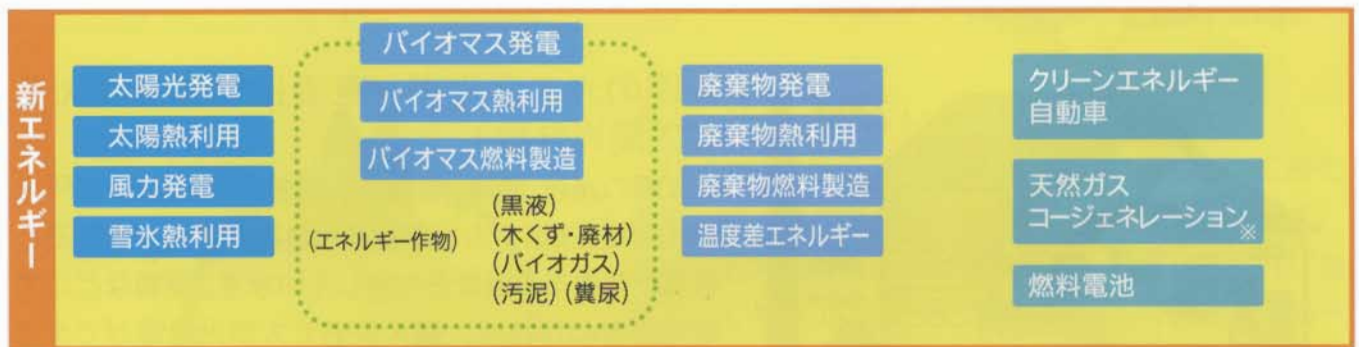
21世紀を支える「新しいエネルギー」

化石燃料の枯渇や海外への依存などのエネルギー問題や、温暖化をはじめとする地球環境問題を解決するためには、私たちひとりひとりが、自分のライフスタイルを見つめなおし、毎日の暮らしの中でエネルギーを大切に「省エネルギー」行動をしっかりと実行していくことが重要です。そして、今まであまり活用されていなかった太陽エネルギー、風力、廃棄物、バイオマスなどの「新エネルギー」を積極的に活用することです。新エネルギーとは、自然の恩恵と人間の知恵が生み出す新しいエネルギーであり、化石燃料のように有限ではなく、しかもクリーンであることが大きな特長になっています。特に、エネルギー資源の約8割を海外に依存している我が国の場合、化石燃料に代わる新エネルギーの利用は、今後、私たちの生活を守るうえで必要不可欠なこととなるでしょう。

「新エネルギー」ってなに？

新エネルギーは、エネルギー源の性質により、大きく3つの形態に分類することができます。

供給サイドのエネルギーとしては、無尽蔵で枯渇の心配がなく地球温暖化の原因となる二酸化炭素を出さない太陽光発電、太陽熱利用、雪氷熱利用等と今まで捨てていた資源やエネルギーを有効に利用するバイオマス利用、廃棄物利用等があり、需要サイドのエネルギーとしては、今までよりクリーンで効率良く化石燃料を使うクリーンエネルギー自動車、燃料電池等があります。



※天然ガスを燃焼させ「熱」と「電気」を発生させるしくみ

真室川町の新エネルギー利用可能量

真室川町に存在する新エネルギーの利用可能量をみると、熱・運輸利用では木質が最も多く 84,474GJ（町内の熱需要の13.9%）、次いで雪氷冷熱が 76,045GJ（同 12.6%）、農産が 47,051GJ（同 7.8%）の順になっています。電気利用でも木質が最も多く 11,733MWh（町内の電気需要の 29.2%）、次いで農産が 6,535MWh（同 16.3%）、太陽光が 3,075MWh（同 7.7%）の順になっています。

